

# 市民の声

## 市政に思う

### シリーズ2

議会広報特別委員会は、4町が合併して3年経過した今、「市民の声」としてシリーズ物の特集を企画・掲載することになりました。4町の各種団体にお話し、市政等に対しての思いを書きいただきました。ご協力ありがとうございました。次回もご期待ください。

議会広報特別委員会

### 地域再生に 全力を

沖美町自治会  
会長 竹内 成明



1 地域再生に全力を  
江田島市の誕生に旧4町の住民は大きな夢と期待と希望を抱いて、市長以下全議員、全幹部職員に力を預けたところでありました。3年経過した現在、その期待した成果をいまだ見ることができません。過疎化が急速に進行した地域が多々あります。農業・漁業・商工業など全産業に暗い陰が漂っています。若者が住み着く町を目指して、住民全員で

全力を挙げて行こうではありませんか。2 委員会等多くの組織を作らないで、江田島市には、委員会等組織があまりにも多く見受けられます。何か課題が起きると、次の委員会が立ち上げられてきます。そのメンバーはほとんど一緒に、屋上屋を作ったことになりません。その結果、組織が複雑となり、時間がかかり過ぎ、結論があいまいになりません。

タイム・イズ・マネーの組織は少なく、結果は早いのが最善だと思います。3 交通船(市営船)の改善に英断を  
西の玄関、三高港の建設に早期着工  
赤字経営が続き問題となつている市営の交通船、乗船客の減少で将来展望が全く見つかかりません。累積赤字を増やすことのないよう、早期の大英断が肝要と思えます。

さらに、永年の課題であります。西の玄関、三高港の建設に対し、地域ビジョンを策定して早期着工をお願いいたします。多少、辛口になりましたが、合併前から今日までの流れを、客観的立場から見ただけで状況を述べ、バランスの取れた理想的江田島市づくりを思い願うところであります。

### 人口減少を 憂える

大柿町商工会  
会長 濱野 博道



四町が合併して3年が経過しました。3万人余りの人口も今では3万人を割り込み、さらに減少傾向にあります。商工業に携わっておられる者にとりましても深刻な問題です。この度、市の取り組みとして交流定住促進協議会が発足し、その一員に加わりました。人口減少に少しでも歯止めをかけよう、他の地域から江田島市に来てもらう、住んでもらおうというのが主旨です。

以前、島の空き家を利用して住み着いてもらうことが出来ないか取り組んでみたのですが難問山積。各空き家の中に家財道具がそのまま詰まっています。長い間放置されたままなので、住むには多額の費用を要す。要望に叶う物件となると限られました。再度取り組み機会が出来ました。福祉・文化・教育・交通・通信・経済・スポーツ・その他、多くの要素を込めた施設の充実も合

わせて考える良い機会になります。大家族でもUターン・Iターンを掘り起こせたらと思います。



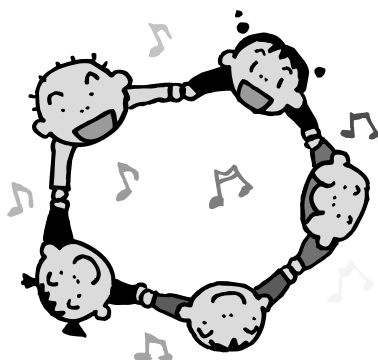
### 合併して 思うこと

能美町高田小学校PTA  
会長 松田 光義



私は、広島市から8年前に能美町に引っ越してきました。引っ越しとともない私の子どもも保育所に入所しました。保育所に入所して思ったのは、広島市とは保育に関して温度差があるなと思いました。その頃から江能4町が合併するらしいと耳にした私は、合併して保育所も少し変わるのかなと思いましたが、合併して今現在、何も変わっていないと思います。合併してすぐには変わらないと思いますが、少しづつ

つでも変わっていかれば良いと思います。合併して悪くなったのでは、いけないと思います。合併して良かったねと誰もが言えるように、行政の方々は、がんばってほしいと思います。



### 老人クラブの 展望

江田島町老人クラブ連合会  
会長 森側 徳夫



高齢者の生きがい、健康づくりを担う老人クラブは、地域を基盤とする自主的な組織であります。活動の形態は、市誕生を契機として、老人クラブ連合会の自主運営に変わり、事務局を中心にして円滑な組織運営を展開中でありました。老人クラブを取り巻く環境も時代とともに様変わりして、会員の高齢化、減員が進む中、老人クラブの活動及び役割のあり方が問われつつあります。

今後の老人クラブのより一層の活性化を図るには、まず、各種団体・関係機関とのネットワークを作り活発な情報公開を行い、次に、会員のニーズに合った各種活動を策定し、各地域に適した環境整備を推進していく必要があります。誰でも、いつでも、参加できるクラブを理念として、楽しい、生きがいのある暮らし、健康づくり、仲間づくりを目指して行きたいと念願しております。

皆さんのご協力をよろしくお願ひします。

